

苗場山-2

2015年7月31日（金）・8月1日（土）

御花畑～山頂～自然交流センター泊～下山



鞍部の御花畑の標高は約 1940m で、苗場山頂が 2145m であるから丁度、標高差 200m を登ることになり、この 200m の急登が雲尾坂である。既にスタートから約 5 時間を経過しており足も重くなってきた。



9 合目あたりから登山道は露岩帯になり、更に傾斜きつくなる。岩の間を覗くと「ヒカリゴケ」が輝いていた。この辺りまで急登な道にも高山植物が茂り、我々に喝を入れてくれ、「頑張ろう」の気持ちが湧いてくる。



急登を登り切ると、突然眼前に遮るものが無くなり広大な湿原が広がっていた。



突然の広大な湿原に疲れもすっ飛び歓喜の声があがる。ここでまだ連絡の取れない後続を待つ。



その頃、遅れている半澤夫妻、川島さん、雄さん達はまだ御花畑にいた。



湿原には池塘が数多く点在し、その周りをワタスゲが囲っていた。



池塘に繁るモウセンゴケと周辺を覆うワタスゲ



我々は苗場山頂に向かった。



全員揃ってはいないが、10名で山頂（2145m）登頂の記念写真を撮る。（15:16）



後続の半澤夫妻、川島さん、雄さんが山頂に到着したのは、16:30 で、約 50 分遅れであった。

しかし、先着した 10 名は後続が追いかけてきていることは知る由もなかった。

雄さんの右の標柱が一等三角点



山頂から 2, 3 分の所に本日の宿、苗場山頂ヒュッテ（自然交流センター）があり、取り敢えず 10 名でチェックインした。残り 4 名については遅れてくるか？あるいは和田小屋に下ったか不明で、後ほど和田小屋に電話して確認する旨を伝えた。（15:20）
従って、夕食は最後の 18:15 にして貰った。



和田小屋へ電話をするまで、山小屋脇のテラスで一杯やり始めた。

（15:35）

30 分程して山小屋の主が和田小屋に電話を入れ確認してもらったが、到着していないとのこと、キット山頂に向かっているはずだから、荷物を持ったり、レスキューとして誰か迎えに行った方が良くとアドバイスされた。若手の石井さん、根岸さんが迎えに行った。



登山靴に履き替え、迎えに行こうと山頂に向かって歩きだしたところ、前方から、川島さん、半澤夫妻、雄さんが現れ、皆の元気な姿を見てホットした。



改めて全員揃ったところで全員登頂を祝い乾杯！

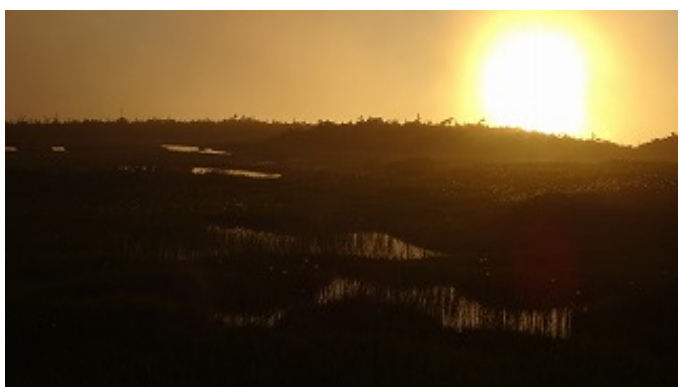


全員揃って、皆さん楽しそうに語らい、飲む。



全員揃ったため、夕食は 17:45 に早まった。

カレーに副菜が数種類で旨かった。
夕食後、日没を見に湿原に散策に出かけた。



日の入りは 18:37 でした。

明日の早朝下山開始に備え、19 時には就寝に着きました。

二日目 8月1日(土)

日の出を拝むため4時に起床した。



4:15 月の光が明るく、雲一つない快晴だ。東の空が赤く染まってきた。

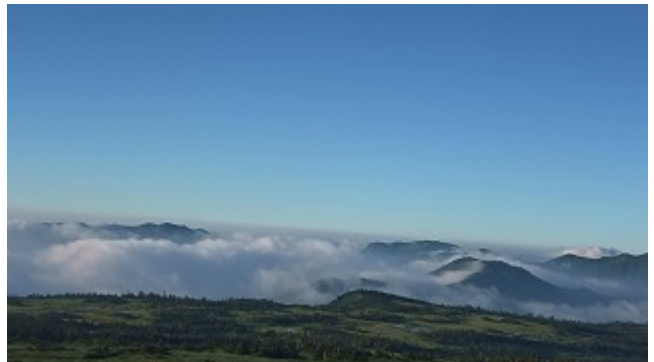


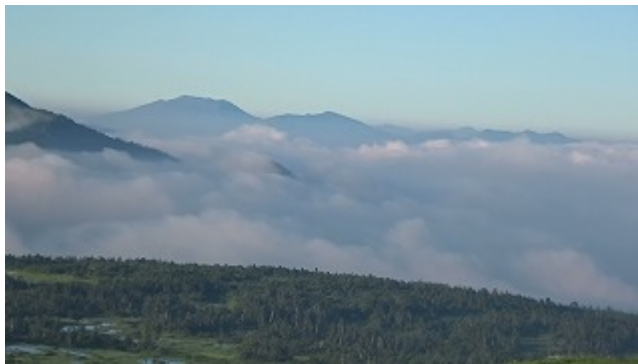
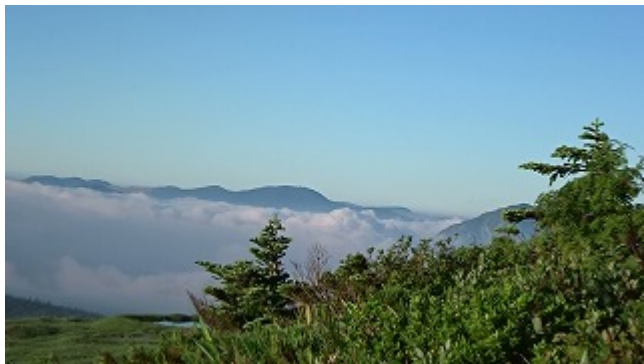
今かと日の出を待つが下から吹き上げて来るガスが濃くなり日の出を拝めるか心配になってきた



粘って根岸さんが撮った日の出写真(4:51)と同時刻に雄さんが撮った月の写真

朝食前に雲海がたなびく湿原を散策した。





浅間山（左）は噴煙があがっていた



朝食は 5:50 で、バイキング形式。
筍煮、ハム、玉ねぎサラダ、煮豆、
コンニャクと姫竹煮等と味噌汁で、
結構豪華な朝食でした。



6:20 小屋脇で出発準備を整える



山頂ヒュッテで記念写真
を撮り出発する。(6:26)



一端、湿原に下り山頂を經由して下山に入る。



苗場山頂に役行者（役小角：大峰山系）の石碑が何故あるのか？



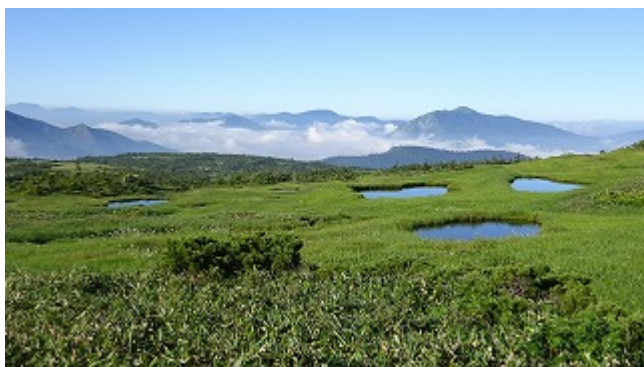
湿原に降りたところで、下山への準備でストレッチ体操



6:40 山頂に向かう



初めて全員揃って、山頂に立った。(6:49)



苗場山頂の湿原を後に下山に入る。昨日は最後の急登で悪戦苦闘した「雲尾坂」を一気に下り御花畑に到着





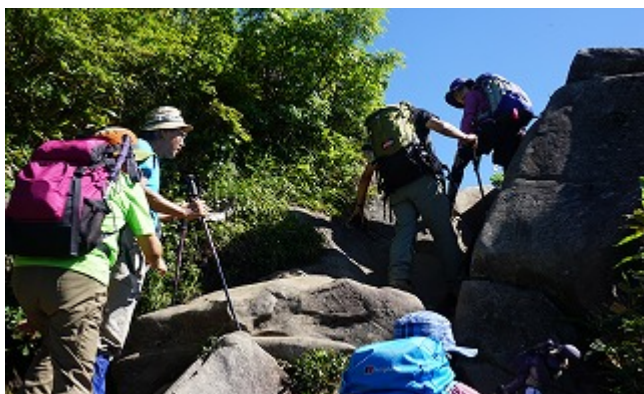
昨日の疲れ切った登りとは異なり、今日は晴れやかな顔で下り切った。



振り返れば昨日はガスで霞んで全貌が良く見えなかった苗場山山頂も今日は綺麗に姿を現していた。
ここから神楽ヶ峰の登りは、途中で、雷清水で飲料を全てのペットボトルに入れ替えてから登った。



8:30 山小屋を出発して丁度 2 時間で神楽ヶ峰（八合目）に到着した。



8:43 股スリ岩を今度は逆方向から登る。これを越えればもう下山ルートに登り斜面はない。



上の芝（8:55）と下の芝（9:55）で休憩を取り、後は登山口の和田小屋まで一気に下った。

下りルートで新たに見つかった高山植物



アカモノ



ヤマオダマキ



11:30 登山口の和田小屋が見えた。

11:50 に読んでいたタクシーに遅れていた半澤夫妻も何とか間に合い、越後湯沢駅に向かった。

駅ロッカーで荷物を取り、日帰り温泉「ユングパルナス」(石打)に行く



温泉で二日間の汗を流し、苗場山登頂と無事下山を果たし、缶ビールで乾杯！



駅前の中田屋で、名物「へぎ蕎麦」で締めて帰路に着きました。

